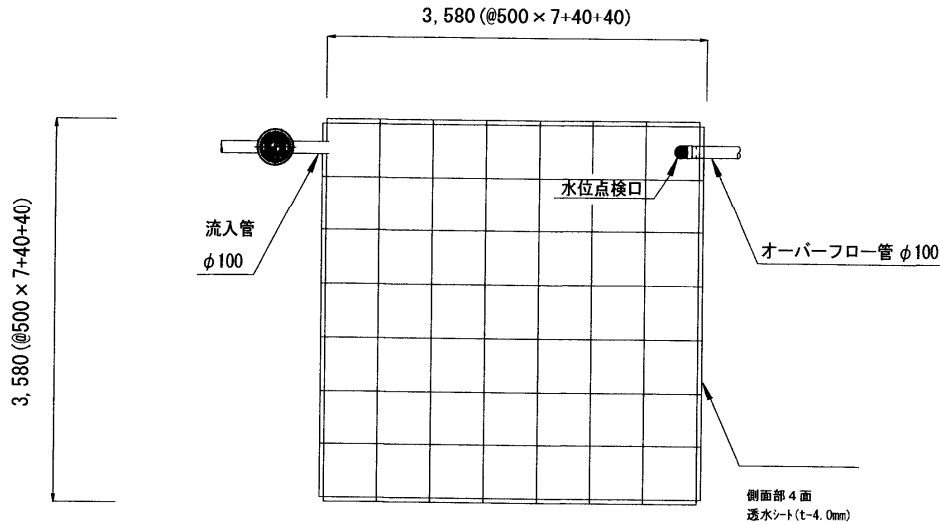
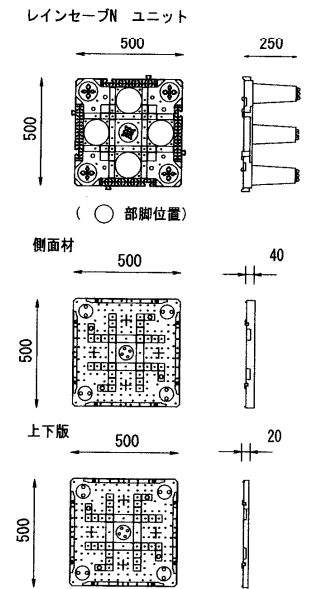


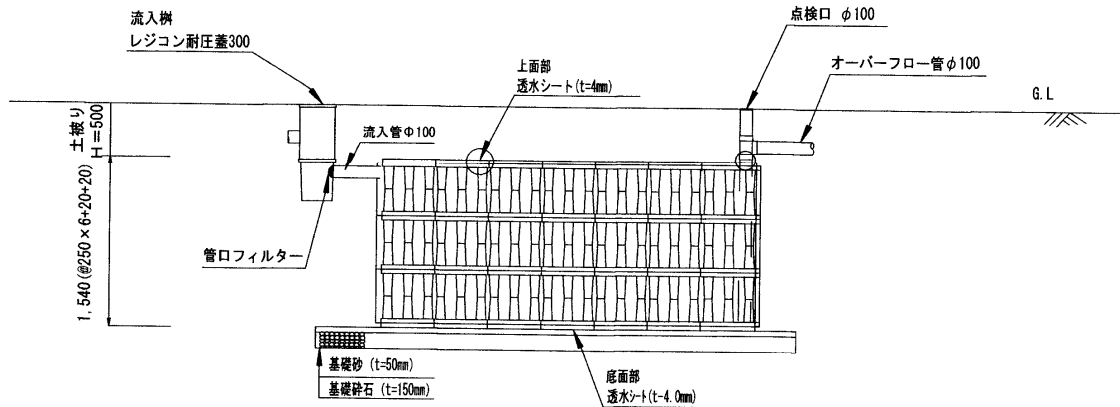
平面図



部品図 (S=1:25)



断面図



地下水位は槽底部より常時50cm以上低いこと

槽概要	数値
配置面積 (m <sup>2</sup> )	12.81
容量 (m <sup>3</sup> )	19.73
有効容量 (m <sup>3</sup> )	18.84
空隙率 (%)	95.5

設置数: 2基 宅番1.2

※注意事項

- ・ レインセープNは、建物基礎等の荷重の影響を受けないよう、建物から十分離してください。
- ・ 埋め戻し後は、土被り荷重を含めた鉛直荷重を36kN/m<sup>2</sup>以下にしてください。
- ・ 埋め戻しが完了するまでは、地下水や降雨による浮力の影響を受けないよう排水対策を行ってください。
- ・ 埋め戻しは、良質土を用いて行い、偏荷重とならないよう4辺から均等に埋め戻してください。
- ・ 地下水位は、槽底部より50cm以上低いものとします。
- ・ レインセープN上部や周辺でのクレーン作業は行わないでください。
- ・ 上載荷重はT-2 (普通乗用車程度) にて設計。施工中を含め槽の上部に重機や中・大型車が載らないこと。
- ・ 最大埋設深度は、6Lから槽底部まで2.5mです。

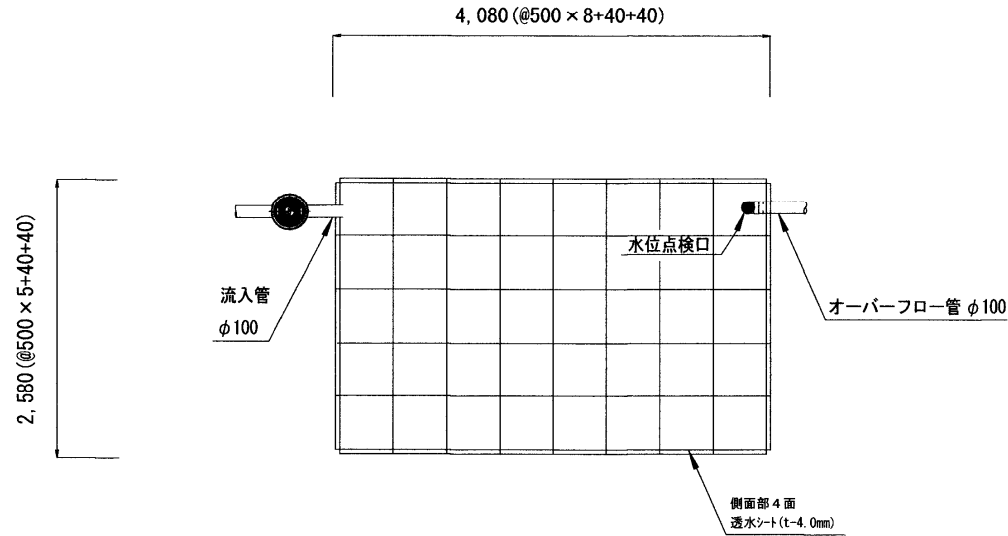
貯留量計算式

$3,58m \times 3,58m \times 1,54m \times 0,955 = 18,84m^3$

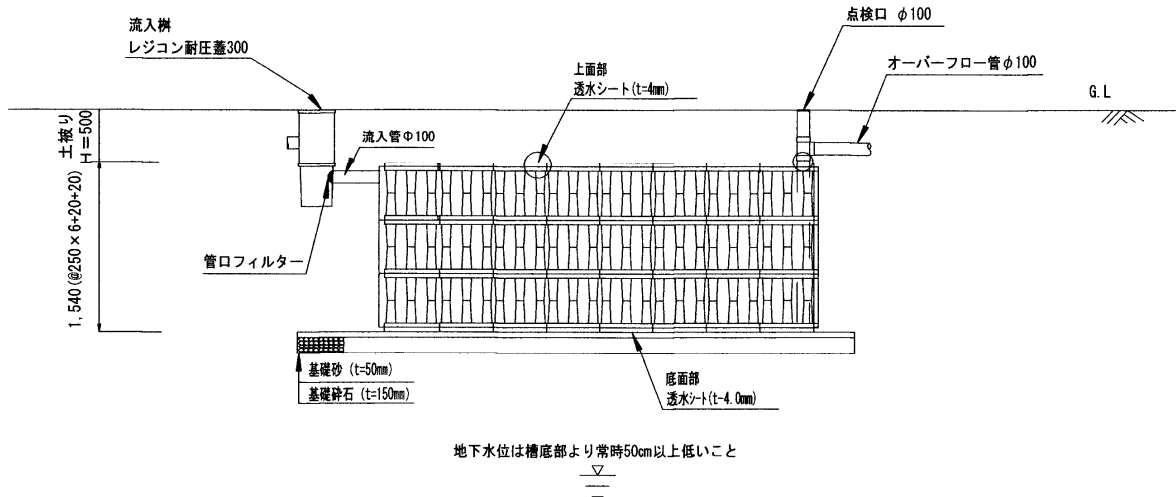
宅地1・2

改訂履歴	△		縮尺	A1 / / /	図面名称	雨水浸透槽構造図Aタイプ	2基
	△		A3	1/50 / / /			
製図	△		製図	株式会社マルヨシ	工事名称	千葉県緑区高田町造成工事	日付
	△			TEL 0476-85-7165			R2.9.9
	△			FAX 0476-75-7365			

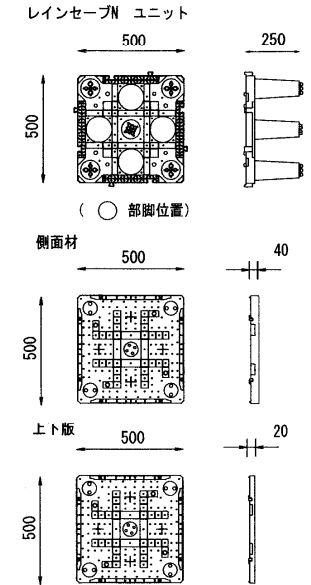
平面図



断面図



部品図 (S=1:25)



槽概要	数値
配置面積 (m <sup>2</sup> )	10.52
容量 (m <sup>3</sup> )	16.21
有効容量 (m <sup>3</sup> )	15.48
空隙率 (%)	95.5

設置数：4基

※注意事項

- ・レインセーブNは、建物基礎等の荷重の影響を受けないよう、建物から十分離してください。
- ・埋め戻し後は、土被り荷重を含めた鉛直荷重を36kN/m<sup>2</sup>以下にしてください。
- ・埋め戻しが完了するまでは、地下水や降雨による浮力の影響を受けないよう排水対策を行ってください。
- ・埋め戻しは、良質土を用いて行き、偏荷重とならないよう4辺から均等に埋め戻してください。
- ・地下水位は、槽底部より50cm以上低いものとします。
- ・レインセーブN上部や周辺でのクレーン作業は行わないでください。
- ・上載荷重はT-2（普通乗用車程度）にて設計。施工中を含め槽の上部に重機や中・大型車が載らないこと。
- ・最大埋設深度は、GLから槽底部まで2.5mです。

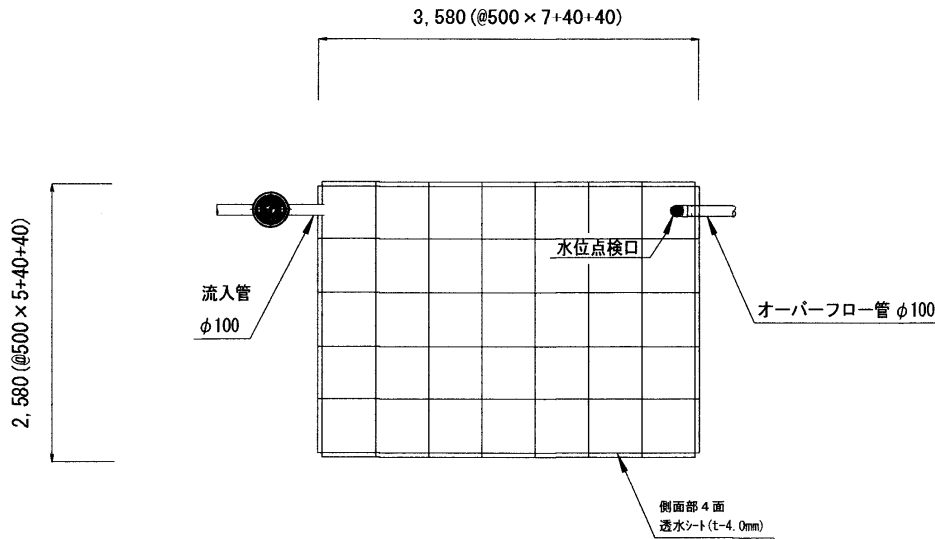
宅地6~11

貯留量計算式

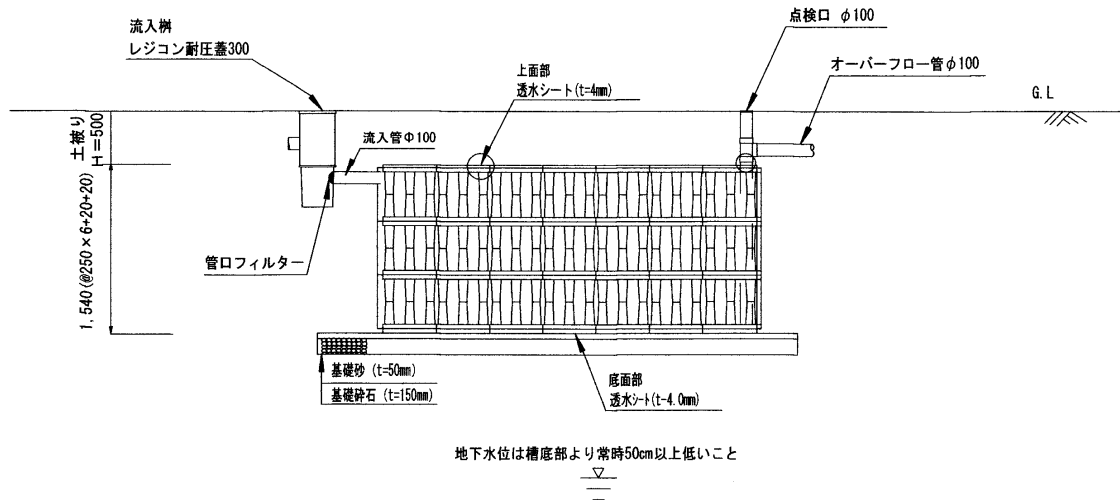
$2.58\text{m} \times 4.08\text{m} \times 1.54\text{m} \times 0.955 = 15.48\text{m}^3$

改訂履歴	△		縮尺	A1	/	/	/	図面名称	雨水浸透槽構造図Bタイプ	6基
	△			A3	1/50	/	/			
製図	△		製図	株式会社マルヨシ			工事名称	千葉市緑区高田町造成工事	日付	R2.9.10
	△			TEL 0476-85-7165 FAX 0476-75-7365						

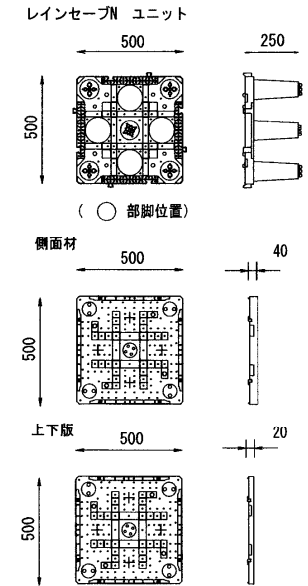
平面図



断面図



部品図 (S=1:25)



槽概要	数値
配置面積 (m <sup>2</sup> )	9.23
容量 (m <sup>3</sup> )	14.22
有効容量 (m <sup>3</sup> )	13.58
空隙率 (%)	95.5

設置数：28基

※注意事項

- ・ レインセーブNは、建物基礎等の荷重の影響を受けないよう、建物から十分離してください。
- ・ 埋め戻し後は、土被り荷重を含めた鉛直荷重を36kN/m<sup>2</sup>以下にしてください。
- ・ 埋め戻しが完了するまでは、地下水や降雨による浮力の影響を受けないよう排水対策を行ってください。
- ・ 埋め戻しは、良質土を用いて行い、偏荷重とならないよう4辺から均等に埋め戻してください。
- ・ 地下水位は、槽底部より50cm以上低いものとします。
- ・ レインセーブN上部や周辺でのクレーン作業は行わないでください。
- ・ 上載荷重はT-2（普通乗用車程度）にて設計。施工中を含め槽の上部に重機や中・大型車が載らないこと。
- ・ 最大埋設深度は、GLから槽底部まで2.5mです。

貯留量計算式

$$2,58\text{m} \times 3,58\text{m} \times 1,54\text{m} \times 0,955 = 13,58\text{m}^3$$

宅地3~5・12~34

改訂履歴	△		縮尺	A1	/	/	/	図面名称	雨水浸透槽構造図Cタイプ	26基
	△			A3	1/50	/	/			
製図	△		製図	株式会社マルヨシ			工事名称	千葉県緑区高田町造成工事	日付	R2.9.9
	△			TEL 0476-85-7165 FAX 0476-75-7365						



凡例	工種・種別	区域	数量	管理者
○	汚水1号人孔φ900	内	14基	千葉市 (下水)
		関する工事	1基	
○	汚水割込1号人孔	外	1基	千葉市 (下水)
○	雨水1号人孔φ900	内	13基	千葉市 (下水)
		関する工事	1基	
○	雨水割込2号人孔φ1200	外	1基	千葉市 (下水)
←	汚水本管VUφ200	内	405.98m	千葉市 (下水)
		関する工事	8.83m	
←	汚水本管VUφ200	内	9.89m	千葉市 (下水)
		関する工事	3.09m	
←	汚水取付管VUφ150	内	137.73m	千葉市 (下水)
		外	1.50m	
○	汚水公共樹VUφ200	内	34基	千葉市 (下水)
		外	3基	
←	雨水本管	内	33.16m	千葉市 (下水)
		VUφ400 関する工事	11.73m	
←	雨水取付管VUφ150	内	117.97m	事業主
		外	0.50m	
○	雨水公共樹VUφ200	内	34基	事業主
		外	1基	
←	雨水浸透槽	内	34箇所	事業主

撤去

凡例	工種・種別	区域	数量	管理者
---	汚水取付管VPφ150	内	0.50m	事業主
○	汚水公共樹VUφ200	内	1箇所	事業主
---	汚水取付管VPφ150	外	9.64m	事業主
---	雨水取付管VPφ150	内	0.70m	事業主
○	雨水公共樹VUφ200	内	1箇所	事業主
---	雨水取付管VPφ150	外	10.75m	事業主

事業名	千葉市緑区高田町 造成工事		
事業区域	千葉市緑区高田町401番12 他		
図面種別	排水計画平面図		
縮尺	A2版=1/500	作成年月日	令和3年1月20日
事業主	美樹観光 株式会社		
図面番号	設計者氏名	株式会社ニカル興業 小林 正和	